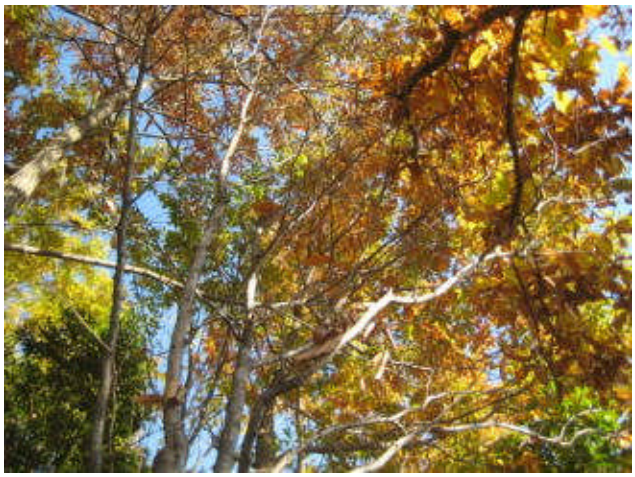
忍者の森

４年生の国語の２学期に、「調べたことを知らせよう」という単元があります。何人かでチームを作り、日常生活の中からもっと知りたいこと、疑問に思うことを調べ、まとめ、伝えるのです。必然、学校の歴史等に関わることが多く、校長にインタビューをしようということになるようです。「学校ができたころはどんな様子だったのですか？」「子どもの山はどうしてできたのですか？」「藤棚はどうしてあるのですか？」「忍者の森はどうしてそう呼ばれているのですか？」などです。その「忍者の森」は平成６年１月に完成しました。写真の様に落葉樹林です。中に入ると夏は暗く涼しく、冬は暖かく、秋は紅葉が長くきれいで志木二小のシンボルの一つです。多くの小鳥や蝉、カブトムシなどの昆虫がおり、子どもたちにとって憩いや探検の場所になっています。また、腐葉土づくりのための、落ち葉の集積場があります。畑や田んぼ、菊などの鉢物の栽培活動の大切な腐葉土、その大半の落ち葉をこの忍者の森の木々の葉で占めています。忍者の森はとても大切なのです。

【３階から見た忍者の森】

【運動場から見た忍者の森】

【中から上を見上げると】



【歴史あるイチョウの木】１１／２９のトピックを

【森の中】

【森を出ると落ち葉のじゅうたんが】